



# CONN コマンド

この章では、Cisco ONS 15454 SDH の CONN（接続）コマンドについて説明します。

## 7.1 CONN-TACC-<MOD\_TACC>

Connect Test Access（テストアクセスの接続）（DS3I、E1、E3、VC3、VC44C、VC38C、VC464C、VC48C、VC36C、VC4、VC416C、VC42C、VC43C、VC11、VC12）

### 使用上のガイドライン

プラットフォーム別にサポートされる修飾子については、[表 27-1 \(p.27-1\)](#) を参照してください。

AID で定義された VC または VT を、TAP 番号で指定された VC に接続します。TACC の詳細については、『[Cisco ONS SONET TLI Reference Guide](#)』を参照してください。

このコマンドを適用するには、最初に ED-<VC\_PATH> または ED-VC12 コマンドを使用して TAP を作成する必要があります。侵入型テスト アクセス モードはトラフィックに影響を与えます。ファシリティ/パスが侵入型テスト アクセス モードで TAP に接続されると、強制的に Locked-Maintenance 状態になります。強制的な移行はトラフィックに影響を与える可能性があります。ファシリティ/パスの現在の状態は Network Element (NE; ネットワーク要素) によって保存され、TAP 接続がダウンすると復元されます。TL1 セッションが終了するかまたはタイムアウトになると、テスト アクセス接続は自動的にドロップされます。

エラーメッセージが返されるアクションは以下のとおりです。

- すべての TAP がビジーの場合は、RABY エラーメッセージが返されます。
- 要求された TAP がビジーの場合は、RTBY エラーメッセージが返されます。
- 要求された TAP が存在しない場合は、RTEN エラーメッセージが返されます。
- 回線がすでに別の TAP に接続されている場合は、SCAT エラーメッセージが返されます。
- 要求された条件がすでに存在する場合は、SRCN エラーメッセージが返されます。
- AID が無効の場合、IAC (Input, Invalid Access Identifier) エラーメッセージが返されます。
- アクセスがサポートされない場合、EANS エラーメッセージが返されます。
- 要求されたアクセス設定が無効な場合は、SRAC エラーメッセージが返されます。
- Roll Pending 状態であるクロスコネクトには TACC を接続できません。



- (注)
- すべてのアクセス モードがサポートされる場合は、クロスコネクトへの接続が確立できます。Unmapped AID (クロスコネクトがない AID) への接続では、MONE、SPLTE、および LOOPE モードだけ使用できます。
  - 1+1、1:1、または 1:N の保護パスへの接続は許可されませんが、2 ファイバまたは 4 ファイバ MS-SPRing の PCA パスへの接続はサポートされます。これは、MS-SPRing の切り替えが発生するとブリエンプション処理されます。
  - TACC を保護 SNCP トランクに接続すると、保護トランクではなく常に現用トランクに接続されます。

**カテゴリ**

トラブルシューティングとテスト アクセス

**セキュリティ**

メンテナンス

**入力形式**

CONN-TACC-&lt;MOD\_TACC&gt;:[&lt;TID&gt;]:&lt;SRC&gt;:&lt;CTAG&gt;::&lt;TAP&gt;:MD=&lt;MD&gt;;

**入力例**

CONN-TACC-VC4:CISCO:VC4-2-1-4:123::8:MD=MONE;

**入力パラメータ**

表 7-1 CONN-TACC-&lt;MOD\_TACC&gt; 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
<b>SRC</b>	送信元 AID (「 <a href="#">25.1 ALL</a> 」 <a href="#">[p.25-2]</a> を参照)。SRC はヌルにできません。
<b>TAP</b>	テスト アクセス パス番号。TAP 番号を使用して、アクセス ポイントが解放されるまで TSC および NE 間のすべてのメッセージを識別します。TAP 番号には、1 ~ 999 の整数を指定する必要があります。TAP はヌルにできません。
<b>MD</b>	テスト アクセス モード (SPLTE、SPLTF、LOOPE および LOOPF には、外部 QRS 入力信号が必要です)。単一の FAD テスト アクセスは、MONEF、SPLTEF および SPLTAB モードをサポートしません。MD はヌルにできません。 パラメータ タイプは、TACC_MODE (テストアクセスモード) です。
• LOOPE	A パスと B パスの両方を分割することを示します。E 方向から着信する回線を、E 方向に発信する回線に接続し、このループ設定を FAD に接続します。F 方向に発信する回線には、QRS が接続され、F 方向から着信する回線は、回線の公称特性インピーダンスで終端します。侵入型テストアクセスモードです。
• LOOPF	A パスと B パスの両方を分割することを示します。F 方向から着信する回線を、F 方向に発信する回線に接続し、このループ設定を FAD に接続します。E 方向に発信する回線には、QRS が接続され、E 方向から着信する回線は、回線の公称特性インピーダンスで終端します。侵入型テストアクセスモードです。
• MONE	アクセスされる回線の FAD から A 伝送パスにモニタ接続が提供されることを示します。

表 7-1 CONN-TACC-&lt;MOD\_TACC&gt; 入力パラメータ (続き)

パラメータおよび値	内容
• MONEF	アクセスされる回線の DFAD に対する FAD1 (FAP の奇数のペア) から A 伝送パス、および同じ DFAD の FAD2 (FAP の偶数ペア) から B 伝送パスにモニタ接続が提供されることを示します。
• MONF	アクセスされる回線の FAD から B 伝送パスにモニタ接続が提供されることを示します。
• SPLTA	テスト中の回線の A 伝送パスの E と F の両方の側から FAD に接続が提供され、A 伝送パスが分割されます。侵入型テストアクセスモードです。
• SPLTB	テスト中の回線の B 伝送パスの E と F の両方の側から FAD に接続が提供され、B 伝送パスが分割されます。侵入型テストアクセスモードです。
• SPLTE	A と B の両方のパスを分割し、アクセスされる回線の E 側を FAD に接続することを示します。F 方向に発信する回線には QRS が接続され、F 方向から着信する回線には QRS が接続され、E 方向から着信する回線は、回線の公称特性インピーダンスで終端します。侵入型テストアクセスモードです。
• SPLTEF	A と B の両方のパスを分割し、アクセスされる回線の E 側を FAD1 に、F 側を FAD2 に接続することを示します。侵入型テストアクセスモードです。
• SPLTF	A と B の両方のパスを分割し、アクセスされる回線の F 側を FAD に接続することを示します。E 方向に発信する回線には QRS が接続され、E 方向から着信する回線には QRS が接続され、E 方向から着信する回線は、回線の公称特性インピーダンスで終端します。侵入型テストアクセスモードです。

## 出力形式

```
SID DATE TIME
M CTAG COMPLD
"<TAP>"
;
```

## 出力例

```
TID-000 1998-06-20 14:30:00
M 001 COMPLD
"8"
;
```

## 出力パラメータ

表 7-2 CONN-TACC-&lt;MOD\_TACC&gt; 出力パラメータ

パラメータおよび値	内容
TAP	テストアクセスパス番号。TAP 番号を使用して、アクセスポイントが解放されるまで TSC および NE 間のすべてのメッセージを識別します。TAP 番号には、1 ~ 999 の整数を指定する必要があります。

## ■ 7.1 CONN-TACC-&lt;MOD\_TACC&gt;